

部会で取り上げた クロスメディアニュース

DNP+学研の シームレスメディアサービス™



- 一つのコンテンツをさまざまな端末で継続して利用できる
- 教育業界向けに機能を提供、移動時などの空き時間を活用した効率的な学習が可能



■ 概要

- 利用者ごとの閲覧状態がサーバーで保持
 - 端末で閲覧していたページの続きを、別の端末で閲覧
 - 同一の学習教材コンテンツを、さまざまな端末から継続して利用できるため、学校での授業や自宅での学習と、移動中や休憩時間などの空き時間も活用した学習を組み合わせた効率的な学習が可能
- メモ機能を使って、学習のポイントなどを各端末から書き込むことが可能
 - 利用者ごとにメモやチェックなどの入力データがサーバーで保持されるため、ある端末で入力したデータを別の端末で引き続き利用することができます。また、書き込んだメモを一覧表示して、学習の復習として活用できる

■ 学研インデックスとの実証実験の概要

- 配信コンテンツ: 株式会社大修館書店(制作:株式会社インターチャネル・ホロン)
「ジーニアス14日間集中コース
TOEIC TEST 470点 新テスト対応版」
- 配信対象者: 東京慈恵会医科大学の学生26名
- 協力: 東京慈恵会医科大学講師／慶応義塾普通部教諭 跡部智氏
- 実施期間: 2007年5月15日～6月26日
- 内容: スマートフォン「W-ZERO3」((株)ウィルコム提供)、学内および自宅のパソコン、ゲーム端末「PSP」に、コンテンツを配信
- 参加者からのコメント
 - 「端末を替えても続きから学習できることは、自分がどこまで学習していたか覚えていないことがあるので便利。」
 - 「電車の待ち時間に学習できることが良かった。」

- 携帯電話のカメラ機能を利用した画像認識・検索サービス
- CD等のジャケットを撮影・検索するだけで商品情報の取得及び「着うた^(R)」「着うたフル^(R)」が購入できる検索サービス



- 携帯端末に搭載されている画像認識技術とiアプリ^(R)を用いたサービス
 - ユーザーが「カメラでケンサク！ERサーチ」のiアプリ^(R)を起動し、身近なメディアや広告、商品などをカメラで撮影
 - 撮影した画像の特徴点を抽出、サーバへ送信し、あらかじめ登録されている画像の特徴点データとマッチングさせ、検索結果として商品情報などを表示する仕組み
- ユーザーは使い慣れた自分の携帯電話のカメラを使って簡単にCD等の情報検索を行うことができます

「カメラでケンサク！ERサーチ」

- 米国EvolutionRobotics社（本社：米国カリフォルニア州）がロボット工学要素技術として開発した画像認識技術「ViPR™」
 - データベースサーバに画像の特徴点とアクションを登録しておく、対象を撮影するだけで、そのカメラ画像から特徴点を抽出しサーバに送信、登録画像情報と比較してサーバから対応するアクションが返ります。認識については、“あいまいさ”を持っているので、逆さまや斜め、また対象物の一部（ある程度）でも認識することができる
- バンダイネットワークスが携帯電話への移植開発を行った
- 企業は、「カメラでケンサク！ERサーチ」をプロモーションやマーケティングに活用可能
 - 販促物や広告などに掲載する商品や企業ロゴなど
 - 画像情報を「カメラでケンサク！ERサーチ」のデータベースにあらかじめ登録しておけば、被写体の販促物や広告などから見込客を誘導し、モバイル・コマースにおける物品販売やデジタルコンテンツの販売、キャンペーン応募などを行うことが可能
- あらゆるものから、本サービスへの利用が可能
 - 通販カタログ、雑誌、CDジャケット、TVCM、商品パッケージ、屋外広告など
 - 1秒に対し、約2コマの画像情報を利用することで、TV番組などの“動画”にも対応可能
- 従来の二次元コードなどとは異なり、画像自体が情報となるため、クリエイティブを損なわない
- 「カメラでケンサク！ERサーチ」は、NTTドコモFOMA^(R) N902iS、N902iX、N902iL、N903i、N904iに標準搭載

Vogueのファッション特集号、Web連携で広告727ページを獲得

- 新聞や雑誌の紙媒体では、暗い話ばかりが続く時勢。そうしたなかで、うって変わって、すごく威勢の良い話を。727ページという記録破りの広告ページの雑誌が現れた。
- 今年の9月号は、連携するオンラインショップを大幅に改造し、ビデオ機能を取り込んだ“ファッションエンターテインメント”サイトに変身させた。サイト名はShopVogue.TV



- Shopには、雑誌広告主の製品が並んでいる。brand別、trend別、department別、あるいはprice別に、製品を調べることができる。実際の製品購入は、対応する広告主サイトに飛んで行く。



9月号は727ページの広告ページで溢れる号になった。これでは2kgくらいの重さになり、気軽に雑誌を持ち運べないくらい。嬉しい悲鳴である。さらに雑誌広告とオンラインショップ出店のセット料金は、かなりの高額とのこと

デュプロがQRコードで紙→携帯からPCへ横断するサービス

- QRコードで読み取ったURLをクリックすると、つながる先は携帯電話向けサイトである場合が多い
 - パーソナルメディアの携帯電話に直接、商品やキャンペーン情報を提供することでダイレクトマーケティングが可能になるからだ
- 紙とWebの連携を目的に、QRコードのつながる先がモバイルサイトではなく、PCサイトになるのがQ転直Paの特徴



- Q転直Paの企業ページでは、QRコード作成のほか、Q転直PaでURLをブックマーク登録したユーザー数と、ブックマークリストからそのPCサイトへアクセスしたユーザー数がリアルタイムに分かる。キャンペーンなどでQ転直Paを利用すれば、詳細な広告効果を測定することができる
- インターネットの発達で情報容量に制限のある紙媒体の価値が下がると言われてきた。だが紙とPCをつなぐ仕組みは、紙媒体に付加価値を与え、ユーザーにも企業にもメリットある情報利用手段になるだろう

新聞紙面と同じものをPCで見るサービス

- 産経
- 読売 (YORIMO)

- 日経ヴェリタス (週刊新聞) が2008年3月からサービス開始

- iRex(9月)
 - レゼコーを、iRexで直接ダウンロード
- Ganaxa
 - レゼコーを、PCでダウンロードして、Ganaxaでよむ
- Sony(10月)
 - PCでダウンロードして、SonyReaderでよむ
- Amazon(11月)
 - Kindleで直接ダウンロードしてよむ

- DSvision



2次元コード関連



二次元コードが紙と携帯を結ぶ



- QRコード
 - DMの中にその人固有のIDを含むQRコード
- その他
 - 透明インクによるQRコード
 - カラーコード
 - ワープショット



展示会系のニュース



lfraEXPO が、クロスメディアアワードを 開催



- 展示会にて、クロスメディアが非常に目立つ
- 携帯向けは、日本に比べて貧弱（日本のQRコードのサービスが絶賛されている）